

■入退院支援ルールの課題 : どうしたら活用を推進することができるか

入退院支援について各職種委員の意見（令和4年第3回協議会から抜粋）「現状と欲しい情報」の課題分類表

①ルールに関する事

各専門種	現状と課題	希望する連携	ルールの記載	具体案
病院相談員	<ul style="list-style-type: none"> ・病院独自の患者サマリーあり、シートを活用することは難しい。 ・包括から要支援の方の情報がない。聞き取りでは要介護か要支援か曖昧な場合が多い。 ・退院支援看護師が積極的に関与し、中心になって動いている病院もある。 	要支援から区分変更がある方もいるので包括から情報があるとありがたい。	情報共有する。要介護、要支援で分けていない。	
ケアマネ	<ul style="list-style-type: none"> ・病棟の看護師と医療相談員に統一した連絡のやり取りができるシステムが無い。 	やり取りができるシステムの構築があるとありがたい。	なし	
地域包括	<ul style="list-style-type: none"> ・要支援は加算がないので病院へ情報を送っていない。元気な方が多いので入退院を把握できていない場合もある。 		情報共有する。要介護、要支援で分けていない。	

②使い方、運用に関する事

各専門種	現状と課題	希望する連携	ルールの記載	具体案
病院相談員	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスが必要な方は基本相談員が入っているが、漏れてしまうこともある。 ・元気でサービスの必要ない方は退院支援を行っていない（相談員が見つからない場合が多い） ・相談員を付けるかどうかの判断は加算のある週1回のカンファレンスで判断している。 ・入院時、患者情報の聞き取りは行っているが、ケアマネの名前は分かるが事業所は分からないなど、情報が曖昧な場合も多い。 ・ケアマネから入退院連絡シートを持参してきた場合は患者サマリーを渡すようにしているが、出来ていない場合もある。 			
ケアマネ	<ul style="list-style-type: none"> ・入院時、病院へ情報提供したが病院内で伝達されていなかったり、退院日の連絡が無かったり、退院時患者サマリーがなかったりする場合がある。 ・退院の確認をしても病院相談員が決まっていなく、連絡が取れないことや退院の連絡が遅い時がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・状態の変化がある時に福祉用具の準備を事前に整えたい時もあるので、なるべく早めに退院の連絡が欲しい。 	相談員、看護師としていなく病院担当者としている。退院7日前までにケアマネに連絡する。	
地域包括	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護認定を持っている方が入院した時には連絡を貰いたい。医療と介護保険の給付に影響があり、過誤申請の煩わしさがある。退院後の給付調整もスムーズに行き、連絡があるとありがたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護認定を持っている方が入院した時には連絡を貰いたい。 	情報共有することになっている。	

③ルール活用の啓発に関する事

各専門種	現状と課題	希望する連携	ルールの記載	具体案
病院相談員	<ul style="list-style-type: none">・ケアマネからの入退院連絡シートが届いていない場合も多く、病院内でも浸透していない。・ルールについて、必要不可欠と認識している方は少なく、時々活用しているという認識。	入退院連絡シートを貰えるとありがたい。	情報共有することになっている。	